

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SOU NEXT 高原		
○保護者評価実施期間	8年 2月 9日	～	8年 2月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 21名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	8年 2月 26日	～	8年 2月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 26日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一面がマットになった広い活動スペースを備え、児童がのびのびと体を動かせる環境を整えています。バルクールマットをはじめとした運動機材も充実しており、多様な運動遊びやプログラムに柔軟に対応できます。また、活動の目的に応じて使える個室も完備しているため、集中して取り組みたい場面や落ち着いて過ごしたい場面にも適切に対応できる体制を整えています。	・活動内容に合わせてプレイルームと静養室を使い分け、より質の高い支援が行えるよう環境づくりに取り組んでいます。	さらに充実させるため、活動内容に応じプレイルームと静養室の使い分けをより丁寧に行い子どもが最適な環境で過ごせるよう環境調整を強化します。また、運動機材や教材の見直しを定期的に行い多様な活動に対応できる体制を整えます。
2	児童の自主性を尊重するため、自ら選択し主体的に取り組める活動構成を意識的に取り入れています。	お友達コイン制度として、1日の終わりに児童同士が互いの良いながらコインを贈り合う仕組みを導入しています。職員と振り返り面談を通して、その日の活動で印象に残った出来事や相手言語化する練習も行い、コミュニケーション力や自己表現力の向上を図っています。月末にはコインの集計を行い、獲得数に応じた表彰を行います。選ばれた児童には翌月の活動内容を定める権利が与えられ、見が集團の活動に反映される成功体験につながっています。この取り組みを認める姿勢と主体性の育ちを自然に促しています。	これからも取り組みを継続的に見直し、子どもたちがより主体的に参加できる環境づくりを進めていきます。お友達コインのバリエーションを増やすことで、互いを認め合う視点を広げるとともに、活動内容については職員だけでなく児童や保護者の意見も積極的に取り入れ、みんなで育てていく仕組みへと発展させていきます。
3	スポーツカリキュラム、SST、理数学習プログラム「みらスタ」など、発達段階や興味に合わせて多様なプログラムを提供しています。運動・社会性・学習の各面から総合的に成長を支援できる点が大きな特徴です。また、保護者の希望や家庭での課題を丁寧に関わり、支援内容に反映させることで、一人ひとりに合った最適な療育環境を整えています。家庭と連携しながら、子どもたちが安心して挑戦し成長できる場づくりを大切にしています。	・活動内容が偏らないようスケジュールを調整し、利用者の皆さんがさまざまな療育をバランスよく受けられるよう配慮しています。 ・SSTなどのテーマ設定においては、保護者の方から伺った家庭での悩みやご意見を積極的に取り入れ、実際の生活場面につながる内容へと反映しています。家庭と事業所の視点を合わせることで、より実践的で効果的な支援につなげています。	・専門的な支援や日々の療育内容について、新しい取り組みを積極的に取り入れながら、療育の質とバリエーションをさらに充実させていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対しての研修会や情報提供の機会が設けられていない。	家族支援として積極的に情報発信は行っているものの、これまで研修や学びの機会が設けていませんでした。	保護者のニーズに応じて、今後は研修の機会も積極的に設定してまいります。日常の子育てで役立つテーマや、家庭での困りごとに関わり添った内容を取り入れ、保護者が安心して学べる場づくりを進めてまいります。
2	保護者会の機会が設けられていない。	保護者会の開催については、保護者さまのご都合が合わず実施に至らなかったことに加え、事業所からのご案内が遅れたことも要因となっていました。	今後は早めの案内と日程調整を徹底し、参加しやすい形で開催できるよう改善してまいります。
3			